

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**ロピア湘南めぐみが丘店**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.35</b>					<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	-	-			<b>2.6</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 界壁遮音性能		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	-	-			<b>2.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温		<b>3.0</b>	0.66	<b>3.0</b>	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.34	<b>3.0</b>	-			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		-	-	-	-			
1 昼光率		-	-	<b>3.0</b>	-			
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 昼光利用設備		-	-	<b>3.0</b>	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		-	-	<b>3.0</b>	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	全ての内装材料はF の製品を採用している	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-			
2 自然換気性能		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	<b>3.0</b>	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	<b>3.0</b>	-			
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>2.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	物販部分の売り場天井高さは4.0mとしている	<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 リフレッシュスペース	工場従業員のための十分な広さを確保している	<b>1.0</b>	0.33	-	-			
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33	-	-			
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	食品工場のため衛生管理に配慮した設計としている	<b>4.0</b>	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	食品工場のため衛生管理に配慮した設計としている	<b>4.0</b>	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトを使用している	<b>4.0</b>	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-			

2.4 信頼性			2.9	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	高台の立地に加え、電源設備は全て屋上設置としている	3.5	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	高台立地のため浸水のリスクは低い 多様な通信手段を設置した	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	冷蔵庫施設のため階高にゆとりのある設計としている	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	冷蔵庫施設のため外壁面積を小さくする平面計画としている	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	設備機器更新は全て建物機能を維持しながら可能としている	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		小田厚道路や住宅地からの景観に充分な配慮をしている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			2.1	0.14	-	-	2.1
2 自然エネルギー利用			3.0	0.25	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率の設備機器を採用している	5.0	0.37	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	超節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減	高強度鉄筋を採用している	4.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤利用	3.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	加圧ガスにN2を採用しており、ODP, GWP共に0である	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0 GWP=50未満の発泡剤を使用している	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2の少ない運用を行っている	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		敷地内緑化率を高くしている	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	大店立地法の規制に基づき抑制を行っている	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄物の排出管理に配慮している	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	1種低層住専地域の規制値より1時間以上日影を減らしている	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	